

マイクロボード取扱説明書

SKB-PP02

for
Palm



対応機種

Palm ・Palm x、IBM WorkPad c3

対応OS

PalmOS

最初に
ご確認ください。

セット
内容

「マイクロボード」キーボード	1台
専用ソフトウェア 3.5 フロッピーディスク	...	1枚
専用アダプタ	1台
CR2032電池(キーボードに差込み済みテスト用)		2個
取扱説明書兼保証書(本書)	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

TS545997-001

2001.12

はじめに

このたびは、PDA用超小型キーボード(マイクロボード)をお買いあげいただき誠にありがとうございます。本製品は、Glide Pointテクノロジーによるタッチセンサー式キー入力を使用したキーボードです。このキーボードを使えばPDAへの入力を手軽に、効果的に行うことができます。上着のポケットにも入るコンパクトな設計で、携帯に便利です。使用に際しては、以下の注意事項をお読みください。

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。

本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

本書の内容については予告なしに変更することがございます。

本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものとは異なることがあります。

△取り扱い上のご注意

本製品は電気で作動しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり変なにおいがしたりした場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社までご連絡ください。

雷がなっている時に、本製品やケーブルに触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。

本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。

故障や感電の原因となることがあります。

濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。

本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。

本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や喫煙器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。

故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。

落下により故障・破損の原因となることがあります。

本製品や他の機器のコネクタ・ケーブルを抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品に接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。

定期的バックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。

本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。

塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内用に作られております。日本国外の規格等には準拠してありません。

快適な使用方法

入力の際は軽いタッチで行ってください。(強くだたく必要は全くありません。)

1度に一本の指でキーを押してください。

手首はまっすぐにのばし、指は少し曲げた状態にしてください。

手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにしてください。

肩に力を入れたり、肩をすくめたりせず、余分な力を入れない。

15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。

腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。

画面を見るときは、心持ち視線が下がるように椅子の高さを調節してください。

窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。

注意 入力時にはサポートアームを使用し、PDA本体がぐらつかないような平らな机の上でご使用ください。

特長

超小型サイズ、出かけるときもポケットに入れて、

PDAとの接続はダイレクトなので、クレードルもケーブルも必要ありません。

折りたたみ式サポートアームでらくらく入力。

電池駆動式でPDAのバッテリーを消費しません。(使用電池 CR2032×2)

自動パワーOFF機能で電池も長持ち。(1日1時間程度の使用で述べ約30時間)

指先で触れるだけのタッチセンサー式キー入力。(ソフトにより3段階の感度調節ができます)



注意 「int 1」キー(インターナショナルキー)は日本語OSでは機能しません。日本語OSでは「int 1」キーは「tab」キーとして動作し、インターナショナルキャラクター(キートップ右上に赤字で印刷されている文字 Ç, œ など)は入力できません。

キーボードのセットアップ

専用のドライバソフトをPDAにインストールする

専用ドライバソフトは「Palm Desktop」ソフトウェアを使ってインストールします。あらかじめ「Palm Desktop」ソフトウェアがインストールされたパソコンとPDAをクレードルもしくはホットシンクケーブルで接続しておいてください。

「Palm Desktop」ソフトウェア及びホットシンク、クレードルにつきましてはPDA製造元にお尋ねください。

Windows XP・2000・Me・98SE・98・95でのインストール

1. パソコンの電源を入れて起動させてください。
2. 本製品付属のインストール用ディスクをドライブに挿入します。
3. 「Palm Desktop」ソフトウェアを起動させます。
4. 「インストール」ボタンを押します。「インストール」ボタンがない場合は、「インストール・ツール」を使用してください。
5. 「追加」をクリックします。
6. フロッピーディスクの中の「PocketKeys_JPN.prc」を選択します。「開く」をクリックします。
7. インストールするリストの中に「PocketKeys_JPN.prc」が追加されていることを確認し、「終了」をクリックします。
8. 次に「HotSync」を起動させた時、PDAには専用ドライバソフト「PocketKeys_JPN.prc」がインストールされています。

Macintoshでのインストール

インストールには3.5 フロッピーディスクドライブが必要です。

1. パソコンの電源を入れて起動させてください。
2. 本製品付属のインストール用ディスクを挿入します。
3. デスクトップのフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
4. 「PocketKeys_JPN.prc」のアイコンをダブルクリックします。
5. 「HotSyncマネージャー」が起動し、そのリストに「PocketKeys_JPN.prc」が表示されています。
6. 接続しているPDAからHotSyncを実行するとドライバソフトがPDAにインストールされます。



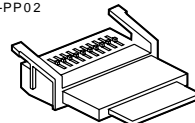
注意 ドライバソフトのフロッピーディスクの中にはPocketKeys.prc(日本語版)とPocketKeys.prc(英語版)の2つのファイルが入っています。どちらかひとつだけをインストールしてください。

キーボードのセットアップ(つづき)

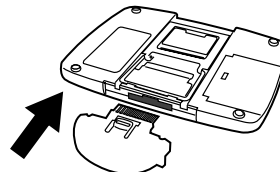
専用アダプタの取り付けと接続

1. ご使用の専用アダプタ(下の図を参照)を確認してください。

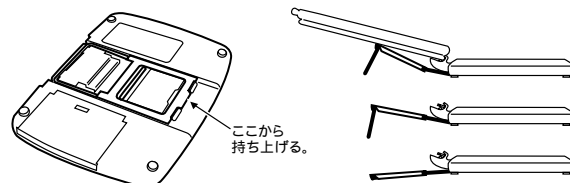
SKB-PP02



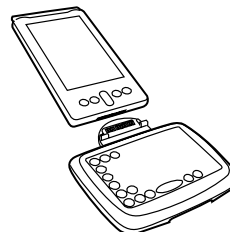
2. マイクロボードのアダプタ挿入口にアダプタをしっかりと奥まで差し込みます。



3. マイクロボードの下にあるスタンドを出して広げます。

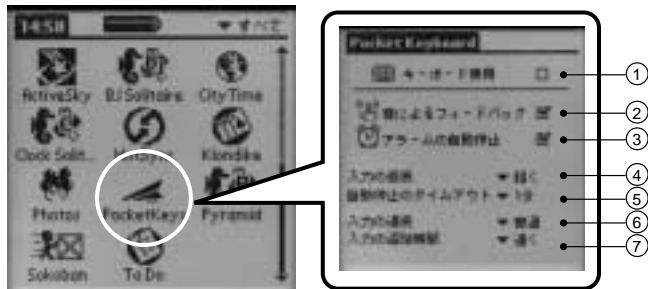


4. PDAをしっかりとアダプタに接続します。



ソフトウェア(PocketKeys)の設定方法

PDAの電源を入れ「ホーム」キーで「すべて」のソフトウェアを表示させてください。「PocketKeys」ソフトウェアのアイコンが表示されています。




「PocketKeys」のアイコンをクリックします。PocketKeysが起動してPocket Keyboard画面が表示されます(上図参照)。「キーボード使用」をチェックして、キーボードの使用を可能にします。

【設定の変更】

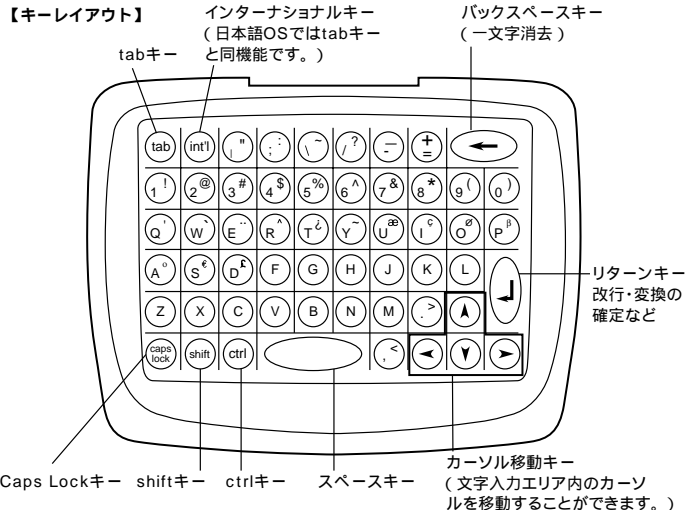
- ① 「キーボード使用」... キーボードの使用/取り消し
- ② 「音によるフィードバック」... キー入力時のサウンドon/off
- ③ 「アラームの自動停止」... キーボードが自動停止した時に鳴るアラームのon/off
- ④ 入力の感度... 3種類の選択が可能
軽く:ソフトキータッチ
普通:中くらいのキータッチ
重く:ハードキータッチ
- ⑤ 自動停止のタイムアウト... 一定時間キーボードを使用しないと、キーボードの電源を切り、電池を長持ちさせます。(再びキーボードを使うときには、再度「PocketKeys」をクリックし「キーボード使用」をチェックします。)
- ⑥ 入力の速度... ひとつのキーを押し続けた時のリピート入力の速度の調節を行なうことができます。(3段階)
- ⑦ 入力の遅延時間... ひとつのキーを押し続けた時にリピート入力が始まるまでの時間を調節することができます。(3段階)

使い方と機能について

文字入力エリアにカーソルがある時に、キーボードを使って文字の入力が行なえます。日本語の入力はローマ字入力で行い、スペースキーで変換し、リターンキー「

通常のパソコンのキーボードのように同時に2つ以上のキーを押すことはできません。例えば「shift」キーを押しながら「A」キーを押して大文字の「A」を入力する場合は、最初に「shift」キーを押したあと、「A」キーを押してください。

リピート入力も可能です。ひとつのキーを押したらそのまま手を離さなければリピート入力することができます。



・コントロールキー

PDAのアプリケーションソフトのコマンドメニューをショートカット操作を使ってキーボードから実行することができます。この機能を利用すれば、「Ctrl」キーを押して、さらに次のキーを押すだけで、必要な機能が実行できます。例えば「手書きメモ」でコピーや貼り付けを行なう時は「Ctrl」+「C」や「Ctrl」+「P」と入力することで機能が実行できます。

・tabキー

「tab」キーはスタンダードのキーボードの「tab」キーの機能と同じです。ただし、一部のPlam OSアプリケーションソフトでは、同時に「tab」キーと「ctrl」キーを使用して、カーソルを次の行か次の項に移動させることができます。この動作を実行させる場合には、まず、「ctrl」キーを押してから、「tab」キーを押してください。

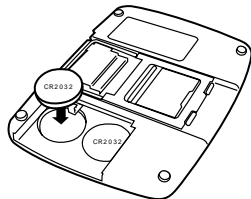
「int l」キーのインターナショナルキャラクタは日本語OSでは使えません。
(赤い文字で印刷されている文字)

電池の交換

マイクロボードには購入の際にコイン型のリチウム電池が2個ついています。電池を取り替える際はCR2032(2個使用)を使用してください。電池が残り少なくなると、PDAの画面に表示されます。キーボードの底にある電池ケースのふたをはずして、新しい電池と取り替えてください。

電池の寿命は、毎日1時間使用したとして、約30時間です。電池の寿命は使用状況によって異なります。

付属の電池はテスト用ですので、上記寿命とは異なります。



質問	回答
効果的にキーボード入力する方法は?	キーには軽くタッチするだけで構いません。このマイクロボードを使用する際は、1度に1本の指だけ使用してください。同時にたくさん指をキーボードの上に置くとも機能しなくなります。
使用する場合はその都度「PocketKeys」を起動させなければなりませんか?	はい、キーボードを接続して、使用する場合は、その都度「PocketKeys」を起動し、「キーボード使用」にチェックマークをつけなければなりません。これはキーボードの電池を長持ちさせるための設定です。
使用時のキーボードの位置は?	マイクロボードは折り畳みのスタンドが取り付けられています。したがって、平らなしっかりした台の上に置いてください。
キーボードに接続した際、入力ペンの使用は?	使用できます。PDAにキーボードを接続しても、入力ペンの使用は可能です。しかし、本キーボードの入力にペンを使用しないでください。本キーボードを使用する時は、指で入力します。
マイクロボードを接続すると、PDAの電力が消費するのでは?	マイクロボードはPDAの電力を消費するものではありません。(しかし、PDAのシリアルポートに接続する場合は、シリアルポートに電力を供給するので、消費電力は増加します。マイクロボードを接続しても、起動させないなら、シリアルポートも作動しないので電力が消費させることはありません。)
どうしてキーボードではPDA上でナビゲートしたり、選択したりできないのですか?	Palm OSはカーソルコントロールをサポートしていません。選択したり、指令を出したりする時は、入力ペンか、「ctrl」キーを使ってください。
マイクロボードを接続しても、他のPDAにインフォメーションを発信することが可能?	可能です。マイクロボードを接続しても、他のPDAに赤外線通信でインフォメーションを発信することが可能です。
マイクロボードで「hot swap」ができますか?	できます。ホットスワップ(hot swap)によってマイクロボードやPDAがダメージを受けることはありません。キーボードが接続されていない時、ソフト(PocketKeys)は自動的に機能しなくなります。
「shift」キーの使い方は?	「shift」キーを押してから、他の文字を押すだけです。キーボードは1度に1本の指だけ使うことを忘れないでください。
キーの反応をよくするには?	「PocketKeys」の一般設定メニューにある、「入力感度」のレベルを一つ上に調節してください。